

第3回 学校統合準備委員会 会議録(白山小学校・平田小学校)

- 1 日 時 令和8年5月28日(木)、18:00~18:45
- 2 開催場所 平田小学校 視聴覚室
- 3 出席委員 久保修一委員長、平野重彦副委員長、川崎秀樹委員、小山美紀子委員、佐々木千紘委員、木村正樹委員、浦津優子委員、橘内修委員、村上貴美子委員、佐々木静男委員、鈴木慎委員、佐藤淳真委員、鈴木美優委員、布田貢委員、菊地雅子委員、藤原賢吾委員、川崎理津子委員 (17人)
- 4 欠席委員 菊地次雄委員、箱石悠委員、赤崎剛委員、白川太一委員、(4人)
- 5 事務局 高橋勝教育長、川崎浩二教育部長、菊池拓朗総務課長、佐々木薫学校規模適正化推進室課長、岩淵勝也学校教育課長、遠野英希学校教育課主幹、中村達也総務課長補佐、谷藤太郎学校規模適正化推進室長補佐、渡邊智哉学校教育課主査 (9人)

6 経 過

(1)開会

教育部長が開会を宣言

(2)委嘱状交付

新たに委嘱された委員の代表に対し、教育長から委嘱状が交付された

(3)教育長あいさつ

【教育長】

本日は夕方のお忙しい中お集まりいただきまして、ありがとうございます。また、教職員の皆さまにおかれましても、勤務終了後にお集まりいただき、本当にありがとうございます。

先ほど委嘱状を交付させていただきましたが、本準備委員会に新たな委員を迎え、通算すると3回目の会議になりますが、今年度第1回目の会議として開催いたします。新しく委員となられた方には、これまでの経過のご説明もあるかと思ひますし、各部会においても、これまでの経緯を説明していただきながら、新たな視点でご意見をいただければと思っております。これまで気づかなかった点や、今後協議が必要となる事項が出てくる可能性もございますので、その点もよろしくお願ひいたします。

さて、教育委員会の動きについてですが、教育委員会会議において、白山小学校および栗林小学校の閉校について議決をいただき、6月市議会において、閉校に係る条例改正について提案する予定です。議決を得ましたら、正式に令和9年3月31日をもって両校が閉校となります。また、6月市議会では、閉校に伴う各種事業に関する予算についても提案する予定です。

本日の会議は、部会が中心になろうかと思えます。現時点で大きな問題や早急に協議すべき事項は特段報告されておりませんが、本日の会議で新たな課題等が出るかもしれません。また、第4回目の会議までに、各部会の協議を終えていただいて、全体の場で確認できるように進めていただければと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

5月13日に開催された白山小学校の運動会は最後の運動会となりましたが、当日は高知県への出張のため出席できず、大変失礼いたしました。岩手日報の記事を拝見しましたが、地域の皆さまにとっても、最後の運動会はひとしおの思い出があったことと思えます。白山小学校では、これから一つ一つの行事が最後となりますので、子どもたちや地域の方々にとって思い出深いものとなるよう、皆さまのお力をお借りできればと思っておりますので、この点についてもお願いしたいと思えます。

それでは、本日の会議をどうぞよろしくお願いいたします。

(4)報告

- ・ 各専門部会における取組内容等について

【事務局】

続きまして、次第4となりますが、これ以降の進行は委員長にお願いします。

6 説明及び協議

【委員長】

早速ですが、次第4、「報告」に進みます。

まずは、委員の交代もありましたので、改めてこれまでに開催された2回の学校統合準備委員会について振り返りたいと思えます。事務局からお願いします。

(事務局から、推進計画策定から第2回準備委員会までの経過を説明)

【委員長】

次に、各部会からの報告をお願いしたいと思います。

2月の第2回準備委員会のあとも部会を開催しましたので、その内容や、その後の話し合いの結果や決定事項について、それぞれ共有していただきたいと思えます。部会という形でなくてもいいので、担当する事項について協議したり、何か決まったことなどがあれば、その内容でも構いません。特に無ければ「なし」で結構です。発表者は、部会のメンバーであ

ればどなたでも構いませんのでよろしくお願いします。

(学校経営部会)

【委員長】

まずは、学校経営部会、いかがでしょうか。

【委員】

前回の部会が初めての顔合わせでしたので、今後の計画を含めた見通しの確認が主な内容でした。今後は、来年度のグランドデザインの策定、その後、他部会と連携しながら9年度の教育課程の策定に着手していきたいと考えております。また、ジャージの検討・決定についても早めに動いていけたらいいと思っております。

【委員長】

皆さんからこの報告について、ご質問等ございますか。

【教育長】

ジャージは新しく作るイメージでしょうか。

【委員】

その前段階からの検討になりますが、その点について現在検討中であり、今後整理してお示ししたいと考えております。

【教育長】

現在使用している平田小学校のジャージではなく、新たにデザインするというのでしょうか。

【委員】

その点についてもさまざまな意見があり、まずは意見を整理・集約したうえで検討を進める必要があると考えております。

【教育長】

わかりました。ありがとうございます。

(教育課程部会)

【委員長】

続きまして、教育課程部会、お願いします。

【委員】

統合にあたり、両校の隔たりがないよう、教育委員会とも相談しながら、Zoomを使用した授業のやり取りや、各学年でいろいろな計画を立てていただいで進めてきました。そして、1回では終わらず、複数回取り組むということで、現在、順調に話し合いは進んでおり、計画も進行しております。直近では、来週、修学旅行に一緒に行ってまいります。

【委員長】

教育課程部会の報告に何か質問等ございますか。

【出席者】

(なし)

(通学・PTA部会)

【委員長】

通学・PTA部会からお願いします。

【委員】

2月にスクールバスの運行と、学校統合後の平田学童育成クラブについて協議しました。まずスクールバスの運行についてですが、白山小学校の児童は皆スクールバスの対象となりました。運行ルートは、松原の岩手旅行社の駐車場を始発とし、女坂、大平、釜石大観音入口、平田小学校に至るルートで、岩手県交通のバスのルートを基本としたほうがいいのでは、という話になりました。

また、懸念事項としてクマ出没時の対応について話がありました。スクールバスはクマが出没しても時間通り運行し、心配があれば保護者の判断で送迎とすることとしました。なお、スクールバスは、時間どおりに運行することが大前提なので、バスに乗る・乗らないの報告は不要ということで決まっております。

もう1点が、学校統合後の学童育成クラブについてです。統合後は、平田学童育成クラブの登録児童数が現在の定員を超える見込みであり、施設整備および職員体制の充実が課題となり協議しているところです。また、学童の利用料金が平田と白山の学童クラブで差があることから、統合に合わせて市内の学童利用料を統一できないか検討を進めています。さらに、ひとり親世帯や兄弟同時利用の場合などの減免等も検討しているところです。加えて、土曜日の利用や長期休業中の開所時間が課題になっていて、特に白山地区から平田に児童を送迎した後に出勤される方が結構多いと考えられることから、開所時間を早めることについて、調整していくことになりました。

【委員長】

通学・PTA部会の報告について、何か質問等ございますか。

【委員】

案として、現在の白山学童をそのまま残すという方法はないのでしょうか。それぞれの時間や費用などの問題も解消するような気がします。例えば、スクールバスで白山の学童まで送迎し、その後それぞれ降ろしていくというような形にすれば、白山学童は今までどおりなので問題はないのかなと思います。そうすると、開所時間などについても統一しなくてよいのではないかと思います。

【委員】

統合することが決まった段階から、学童も一緒になることを前提に話し合いを進めてきた経緯があり、今日の報告になっています。前回の話し合いのあとに、いろいろ話を進めていく中で、平田は平田、白山は白山という案もありなのではないかという話も出てきたところです。なお、まだ十分な協議はできておりません。

【委員】

学童は2か所あってもいいのではないかと思います。人数がいらないからできないけど、例えば、尾崎地区とか、もし人数がいれば、そうなるのでは。

【委員】

前回は話がありましたが、白山の学童は白山の児童にとっては慣れている先生がいるので、そこも考えなければいけないという話が出ていました。現時点では学童を別々にするという話までは至っていませんが、そういう点を踏まえると、検討・協議してもよい内容ではないかと考えています。

【事務局】

今のお話についてですが、白山学童については、白山小学校の父母会が運営しています。平田学童は民間事業者へ委託する形です。白山小学校が統合したあと、父母会がそのまま存続できるのかということも大きな課題の一つだと思います。平田小学校の敷地内にある学童と一緒に利用したほうが保護者としても安心できるのではないかとこの考え方もあります。一方で、委員がおっしゃったような案も今後出てくるとは思われますので、その点についてもこども家庭センターと情報共有を図りながら検討していきたいと思っています。

【委員長】

そのほか、質問等ございますか。

【出席者】

(なし)

【委員長】

本日の委員会後にも部会の時間を設けますので、適宜、必要な検討を進めていただきたいと思います。内容については、次回の準備委員会で共有していただきますので、よろしくお願い致します。

続きまして、事務局から報告事項等がありましたらお願いします。

【委員】

先日の津波警報が出たときにグラウンドへ車で避難しましたが、結構車で避難している方が多かったです。クラブハウスや球場は閉まっていたのですが、管理している方がトイレを開けてくれたので利用することができました。ただ、もう少し迅速に対応していただいたほうが良いのではないかと思います。

【事務局】

貴重なご意見ありがとうございます。この件は防災危機管理課へ共有し、今後、平田小学校の児童が利用できる見通しが立ちましたら、鍵の管理も学校側で行い、開けて使えるという体制を整えたいと考えておりました。避難したにもかかわらず、その場所が安全でないということがないように、気を付けてまいります。

また、自動車による避難の件についてですが、この間の津波警報のときに、鶴住居小学校・釜石東中学校のグラウンドには、原則徒歩での避難とされているものの、50台くらいの車が上がってきていました。原則徒歩ではありますが、避難時間が長時間に及ぶ場合には、車の中にいたいと思う方もいますので、避難先の環境整備が次の課題として出てきている状況です。そこは防災担当部署と共有しながら、子どもたちの居場所が安全で、なおかつ避難所とはいえ良い環境で過ごせるように整備するとともに、滞りなく保護者に引き渡しが行える手順について、教育委員会と学校で協議して組み立てていきたいと考えています。

【委員長】

次に、平田小学校で、津波警報・注意報の発表時の避難場所や避難経路について何か話し合っていることや決まったことなどがあれば、話せる範囲で構いませんので、共有していただきたいと思います。

【委員】

津波避難については、市の教育委員会並びに文化スポーツ課と協議しながら、平田球場

への避難について検討している最中です。

6月19日(金)に、実際に平田球場まで避難する訓練を行います。今の段階では、下の通路を歩いて歩道に上がるという流れで考えていますが、津波到達時刻により、避難場所を平田球場にするか君が洞にするか判断したいと考えています。その通路を歩いて、トンネルを歩いて、国道に上がるまでに何分で移動できるか、6月の訓練で確認したいと思います。また、低学年の子どもたちが、平田球場まで歩いて行けるのかを確認する必要があると思っています。それと同時に、平田球場で引き渡し訓練も行う予定です。車で避難される方もおりますので、迷惑にならないよう避難を誘導していけるような流れを現在検討しています。引き渡し場所としては、現時点ではサッカー場のあたりがいいのではないかと考えています。スムーズにいくかどうかも含め確認をしていきたいと思っています。

現在、まず子どもたちの安全と命を守るということを第一に考えて、訓練をしていきながら固めていきたいと思っていますので、訓練の様子をご覧いただき、ご意見等をいただければありがたいなと思っています。よろしくお願いいたします。

【委員長】

事務局からほかに報告はありますか。

(事務局から、スクールバスの利用希望の事前調査の実施について説明)

【委員長】

事務局から報告がありましたが、委員の皆さんから何かありますか。

【委員】

現在、スクールバスは尾崎方面に1便出ていますが、統合後は2便体制になるのか、それとも1便で運行するのか、その点を教えてください。

【事務局】

車両が1台か2台かということでよろしいですか。

【委員】

はい。

【事務局】

2台で運行する予定です。

【委員】

スクールバスの利用希望調査についてですが、どのような内容なのか詳しく教えていただきたいです。

【事務局】

ご家庭によっては保護者による送迎を希望することも想定されるため、利用状況を確認し、適切なバスの規模を確保することが目的とさせていただきたいです。また、学童を利用される方の中には、登校時は利用するが下校時は利用しないケースも考えられますので、その点についても併せて伺いたいと思っています。

【事務局】

補足です。おっしゃる通り、通常皆さん使われるのですがけれども、様々な学校でスクールバスを運行している中でも、家庭によって利用する・しないというのがあり、利用しない家庭もあります。白山の対象の児童が、バスの規模として中型になるのかマイクロバスになるのかちょうどはさまにある状況のため、まずその点を確認したいというのがありました。また、運行時刻についても、例えば8時着を想定したスケジュールを提示したうえで、もう少し早く到着したいという意向があるかどうかとも確認したいと思っていました。

【委員】

8時着では遅いと思います。

【委員長】

時間の関係もありますので、進めていきたいと思います。

次に、統合準備委員会とは別の話ではありますが、白山小学校の閉校に向けた取組はどのように進んでいますでしょうか。お話しできる範囲で構いませんので、よろしく願います。

【委員】

簡潔にご説明いたします。4月に閉校事業実行委員会の総会を開催し、5月20日に第1回目の閉校事業実行委員会を開催しました。4事業部会での開催ということで、その後、部会を開催しました。また、校内では「最後の1年にできること」を職員で考え、計画的に進められるようカレンダー形式で整理し、職員室で見える化を図りながら取り組んでいるところであります。以上です。

【委員長】

ありがとうございました。

では、引き続き皆さまよろしく願いいたします。

それでは、次第5「その他」に進みます。皆さまから何かございますでしょうか。

【出席者】

(なし)

【委員長】

事務局から何かありますか。

(事務局から次回予定等について説明)

【委員長】

それでは、これで統合準備委員会は閉会として、各部会の開催に移りたいと思います。その前に教育長、一言お願いします。

【教育長】

今後、部会を重ねる中で、より細かな課題が明らかになってくると思います。そういった細かい部分が後々いろんなところで問題になってくる場合もありますので、そういったところも協議してもらえればと思います。ご不明な点等があれば、事務局のほうにお問い合わせしていただければと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

本日は、どうもありがとうございました。この後の部会もよろしくお願いいたします。

【委員長】

それでは、進行を事務局にお返しします。

7 閉会（教育部長が閉会を宣言）